

使い捨てカイロを回収しています

ご存知ですか？長門の海に異変が起きていることを…

近年、長門市では魚介類が獲れなくなっています。最大の原因は「磯焼け」です。磯焼けとは、ホンダワラやアラメ、カジメなどの藻場が減少し、海が砂漠化してしまう現象です。青海島沿岸や日置の二位の浜沖では、磯焼けがどんどん広がっています。

そこで水産高校では、2年前の春から藻場の再生に向けた研究に取り組んでいます。そして私たちは、海に流れ込む鉄イオンの不足が、長門の海の衰退の原因ではないかと考え、研究を進めています。

鉄イオンは海藻や植物プランクトンが増えるのに必要な物質です。鉄イオンが海に流れ出るためには、ドングリの木（カシ、シイなど）の雑木林が重要な役目をもっていました。しかし、今の長門市では約6割がスギ・ヒノキの植林地で、海は鉄不足になっています。同じ問題を抱えていた宮城県気仙沼では、20年に渡って漁師さんが山に木を植える「森は海の恋人」活動によって、豊かな海が戻ってきました。

そこで私たちは、海に直接鉄イオンを供給して海を回復させようと考えて、「鉄炭団子」を作成しています。主な原料は「使い捨てカイロ」です。

そこで、皆さんにお願いがあります。使い終えたカイロを回収箱に入れてください。

あなたのカイロが、長門の海を救います。

ご協力、よろしくお願いいたします。



写真 磯焼けの海（二位の浜沖）



写真 鉄炭団子（2種類）

<連絡・質問はこちらまで>

山口県立水産高等学校
海洋科学科3年&水産科学部
担当教諭 安部 豊

〒759-4106

長門市仙崎 1002 番地

TEL 0837 (26) 0911

FAX 0837 (26) 0912